

世界へ松濤中生 (Achieve a role in the global community)

自立 (Grow) 尊重 (Respect) 創造 (Create)

学校だより

■HP Address

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

■発行
渋谷区立松濤中学校
渋谷区松濤1-20-4
■代表電話
TEL 03-3469-2451, 2452
■発行責任者

校長 斉藤 茂好

NO. 6

10/13

平成27年度

今月の内容

【1面】

■PHOTO SKETCH

大躍進

■校長メッセージ

勤勉

時には曖昧さも

早くも



勤勉

渋谷区立松濤中学校

校長 斉藤 茂好

勤勉であることは美德でした。しかし、勤勉であると時として割を食うことがあります。貧乏暇無しとか、器用貧乏とか、真面目であることが格好良くないし、損を被るといった風潮です。集団を見ていると、勤勉な人とそうでない人に分かれます。身体を使わない方は要領がよくてテキパキはかどっていたのならいいのですが、どうも無自覚的にずる賢く見える場合があります。

集団生活に関して「2・8の法則」があると言われます。アリを観察すると、2割のアリが勤勉で、残りの8割はただウロウロしているだけだそうです。園児達を観察したテレビ番組がありました。先生に遊び道具を片付けるように言われた園児達は、一斉に取りかかりましたが、しばらくすると2割の子が勤勉に、残りは遊び出してしまいました。そこで、先生がその2割の子を別の用事で連れ出すと、遊んでいた8割の子の中から2割の子が片づけはじめました。



集団では「私がしなくても」という思いが勤勉さに水を差します。少しでも楽をしたいという弱さです。誰でも持っている弱さだから、それを抑え込んだ勤勉さが美しかったはずですが。集団は「自分がしなくて誰がする」と考えた人が社会を引っ張って来ました。勤勉さが風前の灯火となったら、社会の根底はボロボロになります。ミツバチは勤勉に蜜を集めます。オーストラリアに行った日本人が花いっぱい大地を見て、養蜂を思い立ちました。初年はうまくいきましたが、次の年から失敗しました。ミツバチが蜜を集めなくなったのです。あれこれ悩んで見つけた原因は、一年中花が咲いているということでした。いつでも花が咲いているから、蜂は苦勞して蜜を集める必要が無くなったのです。

豊かな社会は勤勉である必要性を奪ってしまいました。いつでも好きなだけ必要なものが手に入るからです。勤勉さや真面目さをあざ笑う者がいるとしたら、それは豊かさの落とし子でしょう。それが時代の求めてきたことだとしたら、過ぎては事をし損じるという反省が大人に出てよい頃です。

子どもには苦勞をさせたくない、かばえばかばうほど、子どもは気持ちの虫歯を増やしていきます。歯を食いしばって真面目にがんばろうとしたとき、痛みを味わう羽目になります。若者らしい挑戦とは真っ正直な勤勉さによって蜜を集めようとする行為と同じです。高価なブランドが花に見える目くらましは、蜜を見失っている8割の迷い蜂なのかもしれません。

時に曖昧さも…

勘違いは誰にも経験があります。フリーマーケットを「自由市場」と思いこんでいる人がいます。バリアフリーとかフリーエージェントといった言葉から連想するのでしょうか。フリーマーケットのフリー（flea market）は蚤を意味する言葉なので、「蚤の市」が正しい翻訳です。スイートルームといえば新婚用の「甘い部屋」と思われていますが、本当は「続き部屋」のことです。カタカナ語だけではなく、「うさぎおいしかの山・・・」という歌詞を「美味しいウサギ」と思っている子どももいます。子どもには親の血が流れていると言われます。そこで、母親の血液がへその緒を通して胎児に流れていると思いきや、思いこんでいることがあります。しかし、母親と子どもの血液型が違うことは珍しくありませんし、その場合には胎児に拒否反応が起こって大変なことになります。本当は胎盤で親子の血管がお互いにリターンして血はつながってはいません。子どもには親の血は流れていないことになります。

本当のことを知ると、夢や温もりが薄らいでいきます。子どもにはやはり親の温かな血が流れていてほしいものです。DNAのつながりでは情愛が感じられません。知識というものが冷たいイメージを漂わせるのは、心という曖昧なものを受け入れられないためです。知識を人の心で包んだときに知恵になります。人は理屈通りには生きられないようです。

仕事社会では我慢してクールな理詰めで動きますが、私生活では曖昧に暮らしています。この曖昧さは人にはとても大切です。家庭にはどこか曖昧な場所、片づいていない所があります。隅から隅まできちんとしていればかえって落ち着かないでしょう。同じように、大人が子どものあれこれに立ち入って曖昧な衣をはぎ取れば、子どもは追いつめられついには暴走します。和やかさは曖昧なものです。

楽しい勘違いをすれば、幸せになれます。家族や親しい友人と信じあえるのも案外楽しい勘違いなのかもしれません。そういう曖昧さを楽しみましょう。

早くも

今日から後期が始まりました。今月末には 大イベント「学習発表会」を控え、学校生活も熱を帯びてきます。

そうした中、学校では早くも来年度の準備が始まっていきます。まもなく皆様方へお願いする学校評価を参考に、年間行事予定、人事配置、各年間指導計画等の作成を行います。同時に、平成16年度に始まった英語教育重点校として12年。学校づくりの草創期から伸張期を経て、現在に至る本校の状況を、今改めて整理し見直しを図って参ります。前例や慣習に安居することなく、改善発展を念頭に今後の新たな方向性をお知らせしたいと思っております。改善の視点として、・新規、・検討廃止、・縮小整理を柱に更なる学校改善を実施していきます。

